

令和5年度 法人本部 事業報告

1. 事業報告の概要

今期は新型コロナウイルスの5類への移行を受け、社会活動が再開するなど、入所児童や高齢者の方の社会生活の活性化に向けて、各施設で様々な取り組み再開してきた。地域の公益的取り組みについても、地域の「結び目」の拠点として、各種取り組みを行ってきた。しかし、不適切ケア・ハラスメント発生し、支援の在り方や支援の質の向上を推進する組織づくり、人材育成、雇用環境上の課題が大きく、「人とのつながり」を拠点する法人の根幹を揺さぶる問題であり、管理職体制の脆弱性が露呈する1年となった。今期の問題を踏まえ、管理職の計画的な育成と職員間コミュニケーションの活性化を法人一体となる施策を打ち出す必要がある。

2. 財務の視点(財務基盤等の安定)

(1) 公益事業の安定的運営及び寄付募集の強化

クラウドファンディングによる地域公益活動資金の確保・協賛企業の発掘については、クラウドファンディングを活用する企画立案に至っていない。今年度、本部寄付は590万となり、500万の目標は達成できた。ホームページの発信や寄付金を集めるため、幅広くに情報発信を行い、毎年定期的に寄付をしていただく企業等が年々増加している。

(2) 施設財務の安定

大規模修繕に向けた自己資金の積み立ては、みろく乳児院にて3000万円を計上し、目標金額1200万を達成している。社会的養育事業の中でも特に乳児院では、人件費積み立て等も含むと7825万となった。次年度は、建物管理委員会を立ち上げ、計画的な修繕が実施できるように、管理していく

3. 顧客の視点(サービスの質の向上・新規サービス・環境整備・地域貢献等)

(1) ミックスモダンの地域公益事業の推進

- ① 法人間連携の推進(若者の起業支援・NPO法人活動支援)について、法人内で3団体の活動をバックアップしている。特に学生の地域貢献活動については、全国社会福祉経営者協議の福祉HERO“S”で表彰されるなど、地域支援の新たな居場所を生み、地域で定着する効果が生まれており、法人のアンバサダーとしての役割も担っている。
- ② ごちゃまぜ食堂・ふれあい会食・子ども食堂・地域講演会については、合計113回と継続した取り組みを実施できた。今後は様々な福祉の担い手の発掘につなげるなど、関係者の主体性を喚起する取り組みへと発展させる。

(2) 既存事業の多機能的地域展開の実施

- ① 児童養護施設本体の建て替え及び地域小規模の開設に向けた委員会は、本部として年間21回に上る。大阪市との協議や具体的な資金計画を踏まえた設計立案を行っていく。

(3) 職員の雇用環境の充実(四恩働き方委員会のプロジェクト)

雇用環境の充実に向けて、毎月1回の委員会の開催を通じて、令和6年度より実施する初任給のベースアップの実施、保育園の110日公休の試験運用を始める。これを受け、物価高や処遇改善費の効果的な活用を踏まえ、給与水準の見直しを行う。一方、保育園のハラスメント事案の発生を受け、今後の管理職の定期的なハラスメント対策研修を行うなど、現場職員のサポート体制の強化を図る。

4. 内部統制の視点(働きやすい職場環境・労働環境等)

(1) リスク・人権等の政策の推進

今年度は、保育園と高齢事業において、ハラスメント及び高齢者虐待・不適切な保育の事案が発生した。各施設の発生要因を踏まえ、各種会議の見直し、職場内コミュニケーションのあり方など、施設運営での良質な関係構築に向けた取り組みを行っていく。

(2) 「四恩学園での働き方検討委員会」の実施

① 雇用制度（持続可能な給与制度・退職要件の見直し）の見直し

(3) 業務の適正化及び効率化の推進

① 内部統制の確立については、会計業務手順の確立及び各種規程の整備を行う。

② BCP策定については2ヶ月1回開催し、全施設のBCP策定が終了し、法人全体の総合訓練を3月に開催する。

③ 業務の適正化及び効率化に向けては、ICTの積極的活用を実施するため、情報管理委員会を立ち上げ、体制整備を行う。具体的な運用に向けて、継続して会議を開催し、業務改善を図る

(4) 人材育成・定着の推進

四恩人材キャリアセンターを毎月開催し、法人の中堅職を中心に、法人全体で実施する各種研修を企画・運営を行い、横のつながりの強化を図る。

5. 学習と成長の視点(雇用・人材育成・キャリアアップ等)

- ・雇用管理研修 対象 主任 参加者 30名
- ・社会福祉法人ライフサポート協会合同研修 20名
- ・リーダー育成研修【公益とはを考える】 全3回
- ・しおん次世代育成講座(4回シリーズ) 12名
- ・階層別研修(2年目~5年目対象 5回シリーズ) 14名
- ・社会福祉法人博愛社 四恩学園3名・博愛社3名 3日間の交換研修を実施
- ・しおん実践報告会 令和6年2月10日 SV 山縣評議員 中西理事長
法人5部門から実践報告を行う
- ・【新任研修】 令和6年3月2日 参加者30名